



田所 良夫 議員(新風)

質問方式
一問一答

超高齢社会について

Q 佐野シニアクラブ連合会における老人クラブは、加入対象者が増えているにもかかわらず、毎年会員数の減少が続いているようだが、原因は何であると考えているか。

A 健康医療部長

老人クラブについては、全国的にクラブ数、会員数とも減少傾向にあります。その原因は、新規会員の減少によりクラブの会員が高齢化し、クラブ継続が困難になっていると言われています。また、新規会員の入会が進まない理由としては、活動内容が高齢者のニーズに合っていないことや、老人クラブの名称が共感されていないこと、加入条件の60歳は、現在では多くの人が働いていることなどが考えられています。本市においては、独自の調査や分析等を行っていませんが、同様の原因によるものだと考えています。

その他の質問
☆「日の出」権について
☆赤見城保育園跡地
利用について



金子 保利 議員

質問方式
一問一答

第2次佐野市教育大綱について

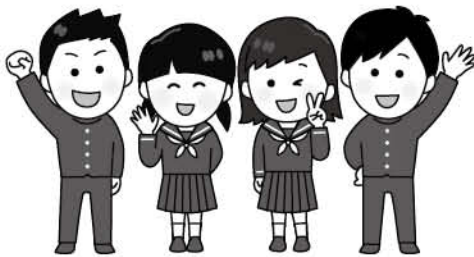
Q 第2次佐野市教育大綱の基本方針に、「いじめ問題に対する学校・家庭・地域の連携」とあるが、3者の連携を構築するための具体的な取り組みを伺いたい。

A 教育長

本市では、学校、家庭、地域の連携を図り、いじめの問題について協議するために平成28年度から佐野市いじめ問題対策連絡協議会を設置して、毎年会議を2回開催しています。本年度は5月21日、第1回目の会議を開催し、インターネットによるいじめへの対応について活発な意見交換や協議が行われました。

また、中学校区ごとに町会長、民生委員、児童委員、保護者の代表、学校関係者などによる地域連絡協議会を開催し、いじめの問題について定期的、継続的に協議しています。

その他の質問
☆保護者との対応
マニュアルについて



亀山 春夫 議員(政友みらい)

質問方式
一問一答

県内市町における佐野市の平均寿命ワーストについて

Q 新聞記事に「佐野、男女とも平均寿命ワースト」と掲載があった。

佐野市は県内25市町中、平均寿命が男女ともに最も短く、男性が79.2歳、女性が85歳だったと厚生労働省がまとめた2015年市区町村別生命表でわかった。

この現状と今回の新聞報道を見て、どのように考察されたのか、伺いたい。

A 健康医療部長

本市の平均寿命が低いことは、様々な要因が関連していると考えています。年齢階級別の死亡率を見てみると、若年者を除く全ての年代において県よりも高い状況です。また、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の3大疾患の死亡率も県よりも高く、脳血管疾患は、特に高い状況です。さらに、特定健康診査及びがん検診の受診率が県より低いことも要因と考えます。

このことから、まずは一人でも多くの方に健診を受けていただき、自分の体の状況を確認し、健康づくりを進めていくことが必要なことだと考えています。

その他の質問
☆農地付き空き家について
☆多面的機能支払交付金について



▲平成30年度の健診スタートブック